

千里地理通信

関西大学地理学・地域環境学教室会報 第87号

Newsletter of Department of Geography and Regional Environment, Kansai University

Contents

Page 1

巻頭随想

ドローンの普及と
地理学的活用

松井幸一

Page 2

学窓から

地理学と歩み 30年
下河敏彦

Page 3

一泊バス巡検報告

近江湖北、三方五湖、敦賀の自然・
産業・歴史地理

神谷風奈

Page 4

同窓会事務局ニュース

Page 5

野間晴雄先生退職 記念事業のお知らせ

Page 6

卒業論文及び修士 論文一覧 教室だより

Page 7

秋の日帰り巡検の ご案内

第4回千里地理学会

Page 8

随想

自然のフィールド
ワークは学びの源泉
前迫ゆり

Page 3-6

新専修生からのひ とこと

Page 7

卒業生からのひ とこと

ドローンの普及と地理学的活用

松井 幸一

近年ドローンが急速に普及し本格的な測量も可能な業務用のドローンから、おもちゃ用の安価で手軽なものまで幅広いラインナップが揃う。地理学の分野でも災害時の写真撮影や測量などで活用が始まっており、雑誌『地理』でもドローン特集号が刊行されるなどその活用がますます期待される。その一方でドローンを実際に手にし、その操縦から利用までを学べる授業が開設されている大学はどの程度あるのだろうか。実は本専修でも今のように規制が厳しくなかった頃にOBからドローンの寄贈を受け実習室に1体保管されている。私自身もこれを利用してドローンによる写真撮影と簡易測量の方法を授業に取り入れたいと考えたが、その申請の複雑さに二の足を踏んでいる。学内で飛ばそうと思うだけでも国土交通省への登録から大学への申請はもちろん、保険の加入まで手続きが多く実際に授業で飛ばすのは難しいと感じる。そのため実際にこれを利用するにはハードルが高く一度も利用できない状態である。今後ますます社会でドローンの活用が増えることを考えると、地理学専修でも強みの一つとして何とかドローンを授業に取り入れたいところではあるがなかなか難しいのが現状である。

さて現状は授業での利用は難しいといえども、私もドローンの活用には非常に興味がある。またこれまで特定地域に限定した航空レーザー測量を専門業者に依頼するのは費用が高くとっても無理な話であったが、近年のドローンの普及により驚くほどその費用も値下がりし、何とか手が届く価格帯になってきた。そこで専門業者に依頼して初めてドローンによるレーザー測量を沖縄県今帰仁村の今帰仁城側の旧村跡でおこなってみた。今回はその一部を紹介したい。測量面積は約8haと狭かったこともあり、飛行時間は30分もあれば終わる。測量前日の測量地の確認・試験飛行と当日の本測量を併せても3時間程度で全て終わり、その時間の短さに大変驚いた。

測量範囲は今帰仁城に隣接するかつての旧村跡である。1700年頃には村移動がおこなわれた結果、現在は一部が畑として利用されているがその大部分は鬱蒼とした樹木に覆われる(写真1)。そのため空中写真ではとてもこの地に

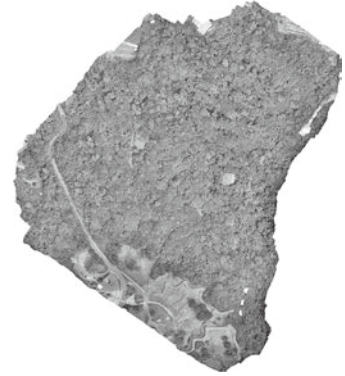


写真1 測量範囲の空中写真

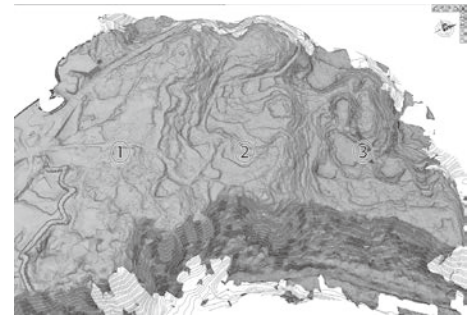


図1 測量地のCS立体図

何かしらの跡があるのかは判別がつかない。このような道路が整備されておらず、測量が困難な場所でこそドローンによるレーザー測量は有効で、非常に短時間で精緻な測量結果を得ることができる。詳細な分析結果についてはこれからであるが、測量結果の可視化からはこの場所が3つの平坦面から構成されていることが確認できた。(図1)。従来この場所では2つの旧村の存在が指摘されてきたが、この図からはその旧村の立地と平坦面の関係性が示唆される。また造られた目的は不明であるが、人工的な石積遺構も複数確認することができた。立体図からは屋敷割石積も一部判読可能なため、今後さらに詳細な分析が進めば、旧村の形態や広がりなどの分析も進むと考えられる。

このようにドローンを利用した分析は、従来の研究とは異なる視点からの発見が可能である。現状は空中写真撮影とその利用が注目されるドローンであるが、今後はレーザー測量も併せてより幅広い分野で導入され活用されていくだろう。そのときにこそ地理学的視点が重要になることを踏まえれば、本専修でもドローンまたはその成果を利用した授業の準備だけは進めておかねばと改めて考えさせられる。

(まつい こういち：本学准教授)

千里地理通信 86 号に黒木先生が寄稿された「3 次元形状に思う」というエッセイを拝読し、GIS が地理学教室に導入され始めた時期であり、ワープロで卒論を書いた学生時代を思い出しました。文章こそ「活字」で書きましたが、図面作成はひたすらロットリングとスクリーン・トーン、九州出身の私にとっても黒木先生のエッセイは納得する内容でした。

私が学部 2 回生となり、地理学教室の一員となったのは 1992 年ですから、今年 30 年の節目に当たります。当時はコンピュータが次第に「パーソナル」になっていきました。一般教養「人文地理」の教科書には、退職された木庭元晴先生が GIS のシステム構成図を記載されています¹⁾。いまや GIS はフリーソフトにまでなりましたが、当時はパーソナルではなく、ハードディスクの容量が 160MB 「も」あると驚いたものです。

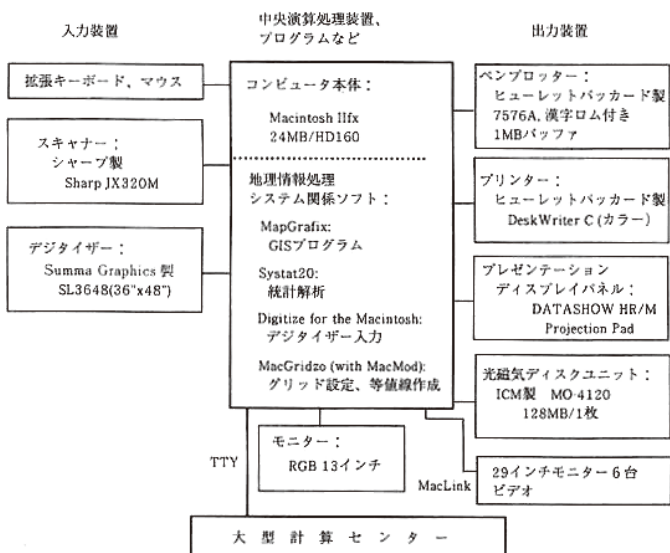


図 1 関西大学の地理情報システムの構成 (1994 年頃)

ハードウェアは時代とともに進化するのは当然です。レーザー計測に基づく高解像度の点群データは、いわば等高線の行間を埋め見える化する革命をもたらしました。任意の視点で 3 次元化すれば「縮尺」の概念もなくなってくるかもしれません。

木庭先生は「GIS 技術が如何に優れていても、それを構築し利用するのは、人である。出力された結果を評価するためには、入力データと処理過程の検討が必要である」と述べられています。この文章の GSI を AI に置き換えれば、私もいま全く同じことを考えています。流域界や崩壊地の自動抽出の試みは今でも行われていて、歴史地理学で学習した条里制についても、GIS を用いた復元が行われています²⁾。条里制を理解するためには、絵図・古文書を読解する技術、考古学的な発掘、条里の存

在を洪水のかく乱からの安定と考えると段丘化をもたらした気候変動の知識も必要でしょう。

私が卒論の対象としていた猪名川流域にも、条里地割と思われる整然とした水田の配列と、旧河道に沿う乱れた水田の配列が判読できます。この境界で農作業をしていた方から、昭和 28, 34, 42 年に大きな水害があったが、ここで浸水の明暗が分かれていたと言うお話を頂いたことを思い出します。ここまで書いたら、つい卒論生に戻った気分になり、10 分で 1 枚の空中写真から自分がどの程度の発想ができるだろうとマインドマップを作成してみました。卒論では行いませんでしたが、数値計算など様々なコラボレーション (この「外来語」も 30 年前には流行っておらず、“なんでも見てやろうと言う地理学的思考”なんて言ってました) が必要です。

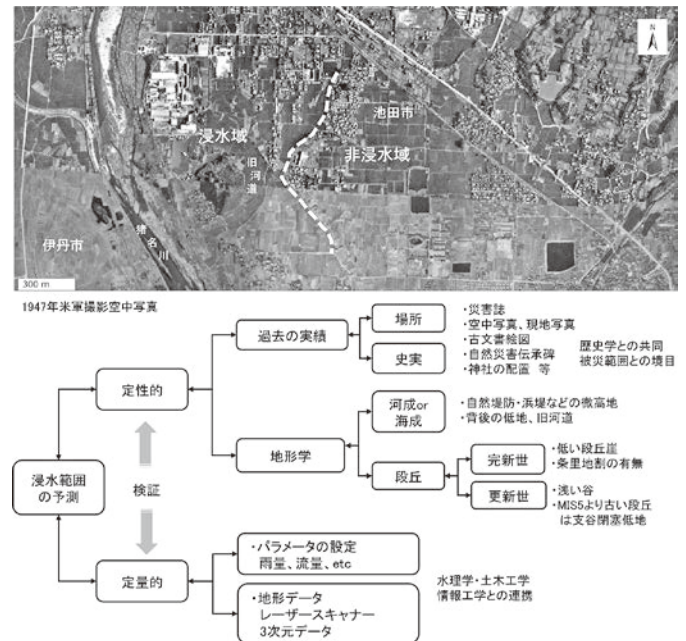


図 2 猪名川中流域の空中写真と浸水範囲予測に関するマインドマップ

地図も空中写真も知的好奇心の不老泉です。AI も GIS も便利な道具であって「混沌の中に秩序を見出す」、時空を超えた妄想旅行で独自の線を引く、これが地理の本質であり楽しみであることは変わりありません。GIS 黎明期のシステム構成図をみて、そんなことを思い出しました。

文献

- 1) 末尾至行・橋本征治 (1994): 「新訂人文地理 - 教養のための 22 章 -」大明堂
- 2) 降旗賢人・宮脇 勝 (2021): GIS を用いた伊勢湾岸地域における古代条里制の歴史的土地利用景観キャラクターライゼーション: 条里制の分布に基づく歴史的土地利用景観のアセスメント, 都市計画論文集 Vol56, No 2, pp.250-258

(しもかわ としひこ: 1995 年 3 月卒)

■ □ 一泊バス巡検報告 □ ■

近江湖北, 三方五湖, 敦賀の自然・産業・歴史地理

神谷 風奈

2022年5月28日, 29日に「近江湖北, 三方五湖, 敦賀の自然・産業・歴史地理」をテーマとした1泊2日のバス巡検が実施された。昨年のバス巡検は, 新型コロナウイルスの影響により日帰りでの実施となっていたが, 今年度において感染対策を継続しつつも元の1泊2日の形で行われたことは嬉しい限りである。このまま収束し, 気兼ねなく外での実習を行えるようになることを願うばかりである。

新大阪駅に集合した後, バスで吹田ICから名神高速道路に乗り, 最初の目的地である長浜へと向かった。長浜までは, 二時間程度要したが, 車内では事前調査を行った3回生の発表や, 先生方による解説が行われた。長浜に到着すると, 1時間の自由行動時間が与えられた。それぞれ, 黒壁スクエアや長浜鉄道スクエア, 長浜城などへ赴き, 自由に観察・見学を行った。私は黒壁スクエアと長浜城を訪れた。黒壁スクエアは, 文字通り黒い壁をした黒壁ガラス館を始めとして, 工房やギャラリー, レストランなどが並び建つ, 観光地にもなっている伝統的建物群である。黒壁ガラス館では, 1階では国内のガラス作品の販売, 2階では黒壁ガラス館の歴史の解説や外国各地のガラス作品の展示・解説及び販売が行われていた。特に興味深かったのはガラス館の建物の歴史で, 初めは銀行の支店として使用され, その後も様々な銀行の支店となった後に世界恐慌により銀行が倒産してしまった。しかし, この建物は, 銀行が倒産した後, 福田長夫氏が購入して倉庫としての利用・営業所への貸与を行っていたことや, 長浜カトリック教会が購入して使用していたことなど, 多くの人々に様々な形で使用され続けてきた歴史ある貴重な建物であるということが解説されていた。長浜城は, 豊臣秀吉が羽柴姓を名乗っていた頃に築城されたもので, 今は城跡に市民の寄付金等によって歴史博物館として再建されている。残念ながら時間が無く, 博物館に入って見学することが出来なかったが, 周辺は琵琶湖沿岸であることも相まって, 公園として市民の憩いの場となっていたため大変過ごしやすい環境であった。

再びバスに乗車し, 道の駅に移動して昼食を

摂り, 琵琶湖水鳥・湿地センターを見学した。尾上漁港・西野放水路, 大音・西山の邦楽器糸製造業等の解説が現地を通過しながら行われつつ, 三方五湖方面へと向かった。海岸沿いを進み, 美浜原発をバス内から見た後に向かったのは若狭町鳥浜の若狭三方縄文博物館と福井県年縞博物館である。まず, 若狭三方縄文博物館は, 三方五湖の畔に存在する鳥浜貝塚を中心に土器や丸木船といった縄文時代のものを扱っている博物館である。特に印象的であったのは丸木船の出土風景の再現展示で, 床をガラス張りにすることで丸木船が出土した際の地面の形状を上から観察できるようになっていた。丸木船の復元や利用法の解説だけでなく, 出土の状況についても分かるという興味深いものとなっていた。次に, 福井県年縞博物館では, 年縞(ねんこう)と呼ばれる, 湖底に毎年積もったプランクトンや鉄分といった季節によって異なる堆積物が重なり合ったものと, それに関連した資料等が展示されていた。最も興味深かったものは, 水月湖にてボーリング調査によって得られた3本の年縞の展示である。長さは約45mにも渡り, 約7万年分にもなるとされている。これは世界で最も長い史料であり, 放射性炭素年代測定法における年代特定の精度を向上させたことから, 「世界基準の年代のものさし」と呼ばれている。この年縞には, 花粉や植物の破片, プランクトン, 火山灰といったものが含まれているため, その種類や量, また年縞の見方によって, その年代の気候や地震といった災害などの傾向や変化を捉えることが可能となる。実際に, 職員の方の解説と共に観察すると, 年縞の色の違いや縞の入り方, 縞の間に含まれている堆積物などが見て取れた。博物館を見学し終わった後は, 旅館へと向かい, こうしてバス巡検1日目終了した。

バス巡検2日目, まず徒歩によって, 現代の倉庫や魚市場, 昭和に造られたコンクリートや木造の倉庫を見学しながら, 敦賀鉄道資料館・金ヶ崎緑地へと向かった。敦賀鉄道資料館は, 旧敦賀港駅舎を再現した建物になっており, 実際に使用されていた信号機や線路といった実物資料, 鉄道模型, 当時のものを複製した時刻表

新専修生から
のひとこと

東三早希

こんにちは。地理学を学ぼうと思ったのは大学に入ってから取った講義が面白かったことと, 防災に興味があるためです。これからよろしくお祈りします。

有本稜大

始めまして, 私は散歩をするのが好きなのでいろんなところに行きたいという景色や地形を見たいと思い地理専修を選びました。よろしくお祈りします!!

生森海也

初めまして, 熊本県のあさぎり町出身です。私の地元では豪雨による災害が起き, そのことについて調べたいと思い, 地理学専修を選びました。高校時代は地理を履修していませんでしたので少し心配ですが, 頑張りたいと思います。

井上裕貴

兵庫県出身の井上です!主に兵庫県やその周辺の歴史地理や土地・地名の成り立ちなどに興味があります!よろしくお祈りします!

井村 光

出身は三重県四日市市です。趣味の散歩や家族旅行が大学で地理学を学ぼうと思ったきっかけとなりました。地理学に関する知識はありませんが, 精一杯勉強し卒業したいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

大東若菜

滋賀県大津市に住んでいます。美味しいもの巡りや観光が好きで, 地理学の研究旅行に興味があったため, この専修を選びました。ジャンプやお笑いが好きです。よろしくお祈りします。

勝見創太

高校で地理が得意だったので選択しました。高校とはまた違った地理の勉強を楽しみたいです。音楽が好きです。よろしくお祈りします。

鎌田優大

こんにちは。フィールドワークに興味を持ち地理学専修に入りました。まだ地理学の中で何を学びたいか決まっていなくて, 今後探していけたらと思っています。これからよろしくお祈りします。

川口祐輝

初めまして、こんにちは。観光や、歴史的な地理に興味があったので地理学を選びました。旅行が好きなので巡検に行くのが楽しみです。よろしくお祈いします！

里見 玲

初めまして。地元は滋賀県です。日本とか海外の都市とかが好きで、元々地理学自体にも興味がありました。実際に足を運んで目に通すことが好きなので、フィールドワーク等楽しみます。よろしくお祈い致します。

新藤颯人

初めまして。幼少期に度々祖父に旅やトレッキングに連れられた影響でそれらが好きであった為、この専修に興味を持ち、希望しました。どうぞ宜しくお願いします。

鈴木美里

愛知県名古屋出身です。地理学の調査や分析に興味があり、専修を選びました。これからさまざまな場所に赴きフィールドワークを行うことが楽しみです。よろしくお祈いします。

瀬木優美子

元々地理に興味があり、また旅行に行くのが大好きなので地理学・地域環境学専修を希望しました。たくさんの交流を通して、地理の学びを深めたいです。よろしくお祈いします！

立岡なつみ

初めまして。神戸市に住んでいます。散歩したり、旅行したりするのが好きで、地理学に興味を持ちました。これからよろしくお祈いします。

田中利佳

幼い頃から雲が好きで、気象学などの自然地理学を学びたい為、地理学専修を選びました。よろしくお祈いします！！

西山奈菜

初めまして、私は文化や観光に興味があり、地理学専修を希望しました。これから、多岐にわたる地理学の分野に触れて、学べる事が楽しみです。よろしくお祈いします。



福井県年縞博物館での集合写真（2022年5月28日）

や外国行きの切符などが展示されていた。金ヶ崎緑地では、芝生とデッキが広がっており人々の憩いの場となっていることに加え、杉原千畝記念館がある。杉原千畝は、第二次世界大戦で難民となったユダヤ人にビザを発行し、多くのユダヤ人が敦賀から日本に上陸し、アメリカなどへ渡航したという歴史を学ぶことが出来る博物館となっている。そして、石油貯蔵のために外国人技師の設計の基建てられた赤レンガ倉庫では、レンガの長さが不揃いながらも精巧に造られている二棟が見られ、横にはかつて走っていた列車も並んで展示されており、圧巻であった。

敦賀市には、日本三大鳥居である朱い大鳥居がそびえ立つ氣比神宮がある。伊奢沙別命や日本武尊といった皇族が多く祀られており、大鳥居や本殿の他に、長命水という飲めば寿命が延びるとされている湧水や縁結び桜など様々な願掛けをする場所が存在する。大鳥居はとても迫力があり、神宮内は多くの参拝客で賑わっているながらも、厳かな雰囲気であった。氣比神宮は、『おくのほそ道』の道中で松尾芭蕉が美し

い月を句に詠むために訪れた場所でもある。敦賀の宿の主人に、明日も晴れるか尋ねたところ、ここらは天気が変わりやすいから今晚に見た方が良いと言われたためにその日の夜に氣比神宮に参拝し、美しい月を見てお砂持ちという故事を思い出しつつ句を詠んだと言われている。また、去る際に芭蕉は、教えてくれた宿に杖と笠を残していったとも言われている。実際に、中鳥居の正面に詠んだ句が刻まれた芭蕉の像が建っていた。

近江湖北、三方五湖、敦賀では、湖や河川、海といった水域の周辺地域でありながら、それぞれの水域に関連した特徴的な自然、産業、歴史が構成されていた。今回の巡検では、琵琶湖沿岸の長浜や、三方五湖沿岸にあり湖とその周辺地域を研究している博物館、敦賀港沿岸地域といった、水域の周辺地域の中でも水域に隣接した地域中心に詳しく巡っていったが、富田酒造や邦楽器糸製造の集落といった通過していった山の近くの自然や産業、歴史も詳細に知りたいたと思わせられた。

(かみや ふうな：本学3回生)

〈同窓会事務局ニュース〉

- ・2013年の卒業生に対して、事務局から郵送による消息調査をおこなっています。該当する卒業生の方には往復はがきを送付しておりますので、ご協力よろしくお祈い申し上げます。
- ・同窓会通信の執筆者を募集しております。1ページ1600～1800字程度、半ページ800字程度です。執筆いただける方は教室メールアドレス [kandaichiri@gmail.com] までご連絡ください。また、会費の納入状況などのお問い合わせも上記メールアドレスにお祈いいたします。

野間晴雄先生退職記念事業のお知らせ

野間晴雄先生が2023年度末をもって22年務められた関西大学文学部をご退職なされます。つきましてはご退職にともなう退職記念事業の遂行のために、「野間晴雄先生退職記念事業事務局」（松井研究室気付）および「退職記念事業実行委員会」を立ち上げました。実行委員のメンバーは先生とゆかりのある方々を中心として以下のように決定しました（敬称略）。関西大学教員：黒木、土屋、松井。関西大学卒業生：岡田良平、齋藤鮎子。松田隆典（滋賀大学教授、滋賀大学関係）。西岡尚也（大阪商業大学教授、奈良大学関係）筒井由起乃（追手門学院大学教授、奈良女子大学関係）。

卒業生の皆様で先生ゆかりの方にはぜひこの事業にご賛同とご協力をお願い申し上げます。またこちらから個別にご依頼させていただくこともあるかと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

●退職記念事業●

- | | |
|--|-----------------|
| ①『ジオグラフィカ千里3号—地誌万華鏡
俯瞰・比較・応用（仮）』の刊行
執筆予定者の皆様にはすでに依頼状を送付済みです。 | ③退職記念講演 |
| ②『野間晴雄先生退職記念エッセイ集』 | ④退職記念パーティー |
| | ⑤千里地理通信掲載用メッセージ |
| | ⑥拠金事業 |

●『野間晴雄先生退職記念エッセイ集』原稿の募集

『野間晴雄先生退職記念エッセイ集』の刊行にあわせて野間先生との思い出に関する原稿（A5サイズ、900字程度）を募集いたします。ご寄稿いただける方は、氏名、卒業年・月を記載し、2023年9月末までに記念事業専用のメールアドレス（kandaimemorial@gmail.com）または野間晴雄先生退職記念事業事務局まで送付してください。頁内には写真などを入れていただいても構いません。執筆要綱の詳細は教室HP（<http://www2.kansai-u.ac.jp/kugeoenv/>）に掲載しております。

●退職記念講演のご案内

退職記念講演を以下のように予定しています。

日時：2024年3月9日（土）13時～14時30分（変更の場合はHPおよび次号でお知らせします。）

場所：大阪ガーデンパレス（予定）大阪市淀川区西宮原1丁目3-35

*新型コロナウイルスの影響のため詳細はホテルと調整中です。次号以降にあらためて詳細をお伝えするとともに、正式な参加申し込みを次号でご案内いたします。

●退職記念パーティーのご案内

退職記念パーティーを以下のように予定しています。

日時：2024年3月9日（土）15時30分～18時（変更の場合はHPおよび次号でお知らせします。）

*最初に記念撮影を予定。

場所：大阪ガーデンパレス（予定）

会費：1万5千円（予定）着座ブッフスタイル

ご参加いただける方には当日『野間晴雄先生退職記念エッセイ集』をお渡しします。

*新型コロナウイルスの影響のため詳細はホテルと調整中です。次号以降にあらためて詳細をお伝えするとともに、正式な参加申し込みを受け付けます。

●千里地理通信掲載用メッセージの募集

千里地理通信第90号（2024年3月刊行予定）は「野間晴雄先生ご退職記念号」として増ページで刊行予定です（編集担当は黒木）。そこに掲載する「野間先生との思い出」を400字から800字で募集いたします。タイトルはご自由にお決めください。ご寄稿いただける方は、2023年9月末までに編集担当の黒木（kuroki0@kansai-u.ac.jp）まで氏名、卒業年・月、所属を明記し送付してください。

●拠金のお願い

一口2,000円から拠金をお願いしております。2口以上の拠金をいただける方には、『野間晴雄先生退職記念エッセイ集』を送付させていただきます。ご賛同いただける方はゆうちょ銀行に開設した「関西大学地理学教室退職記念事業会」までよろしくお願い申し上げます。

振替口座：00960-0-196189（関西大学退職記念事業会）

他の金融機関からの振込 店名：〇九九店 預金種目：当座 口座番号：0196189

締め切り：2023年12月末

平井杏周

こんにちは。私は部活の練習や遠征、旅行などで色々な所を訪れるうちに地理に興味をわき、この専修を選びました。フィールドワークが楽しみです。よろしくお祈りします。

藤田愛子

もともと興味があった地理学をより深く学べるということでも楽しみにしています。よろしくお祈りします。

前谷駿輔

こんにちは。地図をながめることが好きです。旅行のときには神社仏閣へいくことが多いです。よろしくお祈りします！！

山本奈穂

初めまして。私は受験勉強を通して地理に興味を持ち、この専修を希望しました。旅行に行くことが好きで、特に地域の文化や観光について学びたいと考えています。これからよろしくお祈りします！

吉村虎太郎

はじめまして。旅行好きが転じて地理学専修を選びました。人間に興味があるので人文地理に興味があります。これからよろしくお祈りいたします。

和谷 亮

京都府に住んでいます。観光に興味があり将来その分野の仕事に就きたいと地理学を選びました。これから色々なことを学べればと思います。よろしくお祈りします。

〈大学院生〉

張 銘珊

初めまして。中国黒竜江省の出身です。日本に来た後、鉄道旅行が好き、日本の寺社参詣鉄道に興味を持つようになりました。鉄道と社寺巡礼に関する研究を進めたいです。野間ゼミに所属しています。これからどうぞよろしくお祈りします。

張 然

地理学は非常に興味深い学問である。本で学んだ知識は生活の中で多かれ少なかれ目にすることが出来る。ただ、地理の勉強は本だけではいけないので、旅行に行けるようになったらぜひ出かけてみてください。

楊 珺屹

みなさん、こんにちは。今年の春からお世話になっているM1の楊珺屹です。物質的場所に対する人間の認識構造に強い関心があり、現在沖縄をフィールドワークとした研究に励んでいます。これからもよろしくお願います。

徐 雨辰

関西大学地理教室で三年間の研究生と修士課程から無事卒業した後、より困難な博士課程が始まります。今後は専門の歴史地理学の研究を専念する他、関西大学地理教室のみなさんと一緒に各分野の知識を身につけることができたら幸いです。これからもよろしくお願います。

劉 天星

関大地理専修で3年の修士課程を修了した後、今年の秋学期から博士課程に入ります。前の3年間は先生たちと巡検し、いろんな知識を学びました。これから博士課程に入って、頑張って勉強を続けたいです。

卒業論文及び修士論文一覧 (2022年3月・9月, 卒業・修了)

【卒業論文 2022年3月卒業】

秦 遼太郎	大阪港を中心とした臨海地域の変容
大坪 直人	表六甲3河川流域における市街地の変化 —住吉川・生田川・湊川を事例に—
奥田依吏子	吉田初三郎の鳥瞰図「鉄道沿線案内」による景観要素のデフォルメとその地理学的含意
尾上 晃也	地方高校生の鉄道利用がなぜ広がらないのか —徳島市城西高校生の利用実態からローカル線の課題を考える—
楠 和磨	甲子園における土地利用の変遷
小林 加奈	土地利用からみる彦根城下町の変遷
四至本 翔	泉佐野市の空き家問題
寺田 昂右	スタジオジブリによるコンテンツ・ツーリズムの将来性 —「耳をすませば」を事例に—
寺田 優治	災害伝承碑の教訓とその現在 —大阪市を事例に—
中村 聡	北陸新幹線の金沢延伸による交通ネットワークの変容と地域生活への影響
長尾 剛周	旧呉市内の秋祭りとやぶ(鬼)の結びつき
新田 慎也	農業景観の保全とかわる物理的景観の変化
前山みつき	地域おこし協力隊による棚田保全事業 —和歌山県紀美野町中田の棚田を事例に—
矢野裕理佳	人口減少時代における次世代に繋がる街づくり —阪急電鉄株式会社を事例に—
檜 孝太郎	大阪府北区における喫茶店が果たす地理的役割
山岸 諒大	新潟市中心部における都市型公共交通の導入に関する考察
井上 朝日	高野山上と山麓を結ぶ交通体系の変遷

【修士論文 2022年3月修了】

朱 子同	京阪神大都市圏における鉄道ネットワークの変容
徐 雨辰	近世日本におけるサトウキビ栽培および製糖技術地域的展開 —奄美と讃岐の比較—

【修士論文 2022年9月修了】

何 雪瑩	買い物弱者の支援手段としてのインターネット通販の可能性 —大野城市を事例に
蔡 伊寧	日本におけるフットパスの地域特性分析と人的ネットワークに関する考察 —近郊・遠郊農村の新しい動きを通じて—
李 蕊君	ソフトウェア産業の発展に関する地理学的研究 —中国におけるソフトウェア産業の集積形成に着目して—
劉 天星	大都市圏近郊地域の開発とその変容 —大阪府と重慶市の工業団地を例として—

教室だより

■令和4(2022)年度の地理学・地域環境学専修に所属された2回生は22名でした。大学院博士課程前期課程には3名の留学生、大学院博士課程後期課程には2名の留学生(2名とも内部進学)が入学しました。9月末現在、2回生は22名、3回生は14名、4回生は27名、博士課程前期課程10名、博士課程後期課程2名の計75名となります。

■恒例の5月の「地理学・地域環境学実習」のバスによる1泊巡検は、5月

28~29日に若狭・敦賀方面に一泊二日で実施しました。

■大学院合同演習は、昨年と同様に関西大学梅田キャンパスで7月16日(土)に実施しました。閻 伊夢, 高田恭平, 潘 多, 張 銘珊, 何 雪瑩, 李 蕊君, 蔡 伊寧, ガルサンドルジ・ブルドルジ, 朱 子同, 劉 天星, 徐 雨辰, 鄭 梓鈺の12名の発表がありました。

■2022年3月~9月までの教員の海外出張はありません。

地理学研究会・同窓会 令和3年度会計報告

(収入)	(円)
一般会費(4名)	16,000
新入生会費(3名)	8,000
寄付金(2名)	15,000
計	39,000
(支出)	(円)
千里地理84号郵便発送代	15,700
千里地理第85号・86印刷代	80,536
千里地理85号郵便発送代	15,660
千里地理86号郵便発送代	9,588
はがき書き損じ交換	10
雑費	7,418
アルバイト謝礼	8,000
計	136,912
(収支残高)	(円)
前年度繰越金	422,422
収入-支出	-97,912
計	324,510

秋の日帰り巡検のご案内

関西大学地理学同窓会（旧・研究会）の恒例行事となっている日帰り巡検を、2回生、M1の大学院生の案内を中心にして、以下の要領で実施します。今回の巡検は、京都市伏見区の伏見・淀のまちと八幡市の石清水八幡宮を、京阪電車・ケーブル等を利用してまわります。昼食は、伏見大手筋商店街で各自とります。

なお、新型コロナウイルス感染拡大が2年半たってもまだ終着点が見通せない状況で、場合によっては、今回のコース変更・中止もありえます。その際は専修のWebサイトで9月末までにお知らせし、参加を申し込まれた同窓会員の方にはメールで連絡させていただきますので、必ず、申込みの際には氏名、メールアドレス、携帯電話番号を野間までお知らせ下さい。通常は担当学生・大学院生のメールアドレスへの申し込みとなっていますが、今回の申込みは上のような事情に鑑みて、教員の野間の電子アドレス（noma@kansai-u.ac.jp）までお願いします。また直前のキャンセルなども野間の携帯（090-2381-9752）までお知らせ下さい。

テーマ：伏見・淀・石清水八幡—三川合流地域の自然と交通・歴史景観・産業—

日程 2022年10月2日（日）10：00～18：00頃 2回生、M1ら23名が案内

集合 京阪本線・墨染駅 京都方面改札口 10時

コース 京阪墨染駅（10：00）～京都疏水・墨染発電所～国鉄伏見鉄道駅跡～伏見駅～（近鉄京都線）～桃山御陵前～御香宮と湧水～大手筋商店街（昼食のため一次解散）～月桂冠大倉記念館見学～濠川～中書島～三栖閘門・伏見港公園～京阪中書島駅～（京阪）～京阪淀駅～京都競馬場～淀城跡～城下町～納所・水垂～京阪淀駅～（京阪）～京阪石清水八幡宮駅～ケーブル八幡宮口駅～ケーブル八幡宮山上駅～石清水八幡宮～飛行神社～東高野街道～高良神社～京阪石清水八幡宮駅（解散：18時頃）*状況によっては復路もケーブル利用

費用 伏見～桃山御陵前 160円、中書島～淀 210円、淀～石清水八幡宮 210円 ケーブル片道 300円、月桂冠大倉記念館 600円（大倉記念館の見学は現時点で団体予約を受け付けていないので、個別見学になる可能性があります）、昼食代

*「京阪大阪・京都1日観光チケット」「京都1日観光チケット」を使った方が得な場合が多いと思います。京阪ウェブサイトを見て、オンライン申込みがお得です。

教員責任者：野間晴雄（携帯電話 090-2381-9752）、土屋 純（携帯電話 090-5864-5738）

卒業生からのひとこと

何 雪壁

この度、無事に卒業することができ、嬉しく思っております。修士論文だけでなく様々な部分でご指導いただきました先生方には心から感謝しております。地理学専攻の仲間と共に学ぶ機会を通し、様々な視点で物事を考えることができるようになりました。大変有意義な2年間を過ごしたと思います。ありがとうございました。

李 蕊君

関大地理学教室に入り、バス巡検や実習調査を通じて多くの貴重な経験になりました。先生方や先輩方に恵まれ、充実した大学生活を過ごせました。誠にありがとうございました。

劉 天星

地理専修で3年を過ごし、いろんな知識を勉強した上に、先生たちと一緒に多くの巡検を行って、この3年間にたくさん楽しい思い出が出来ました。この間にコロナの影響のため、1年半ほど中国にいましたが、野間先生はいつも支えてくれて本当に感謝します。これから博士として一緒に懸命頑張ります。

蔡 伊寧

大学院の二年間はあっという間に終わってしまいました。ここではたくさんの素晴らしい人たちに出会い、充実した日々を送りました。自分の想像より成長した一方、悔しいこともたくさんありました。しかし、楽しいことであっても、悲しいことであっても、この二年間は私にとっての最高の二年間でした。全ての出会いに感謝します。

第4回千里地理学会

日時：2022年12月10日（土）14時30分～17時30分

場所：関西大学千里山キャンパス 第1学舎1号館（A棟）A601

千里地理学会 14：30～17：00

- 1) 大学院生：出雲市実習調査中間報告
- 2) 廣田琢也（京都鉄道博物館総務企画課・主任調査係）「鉄道博物館の役割と鉄道文化」
- 3) 松井幸一（関西大学・准教授）「ヨーロッパ在外研究を終えて」
- 4) 栗本史雄（産業総合研究所名誉リサーチャー、本学非常勤講師）「地質地盤情報（ボーリングデータ）の活用と法整備－国民の安全・安心のために－」

懇親会 開催可能な場合はHPで告知します。参加費：3000円程度

[付記] 新4回生（3回生）にむけて、学会に先立ち、同一日に卒論講話を実施します。

卒論講話 13：00～14：00 野間晴雄 <3回生対象、卒論アンケート提出>

40年以上前の話になり恐縮ですが、大学3年生の学生実習で東北の八甲田山に登った体験は、私が生態学の扉を開けた瞬間だったように思います。八甲田大岳（標高1,585m）から向こうに見える樹木は、風が強く吹き付ける側の枝を伸ばすことができず、風と反対方向に枝が伸びた、いわゆる‘風衝樹形’をしていました。このような現象をはじめて目にした私は、自然のエネルギーとそれに適応する植物の生存戦略はすごい！と感じ入り、もっと自然のことを知るためにフィールドワークをやりたい…という思いで、大学院に進学することを決めました。

その実習は東北大学実験所に宿泊し、食事は酸ヶ湯温泉にとりにいくスタイルでしたが、その食事がとてもおいしかったと記憶しています。当時、酸ヶ湯温泉は全面混浴（今は時間帯によって女性限定も設定されているようです）でしたので、湯煙でみえないから入ろうか・・・と友人と話しながらも、結局入りませんでした。実習中、酸ヶ湯の実験所から、街にねぶた祭にでかけると、らっせら～、らっせら～♪のかけ声が楽しく、みんなで踊りの輪にはいって跳ねました。京都で育ったために、夏は祇園祭がいちばんと思っていたのですが、東北のねぶた祭はわくわくする躍動感が湧き出てくる祭で、最高でした。ねぶたが終わると、青森の人々はもう来年のねぶたに思いを馳せます。長い歴史とともに自然と文化が融合した日本の祭は、人々のエネルギーを集結した元気の源ともいえそうです。

わずか数日の実習でしたが、その実習から、自然の多様性や地域ごとに文化が異なることなどを学びました。以来、生態学分野にかぎらず、地域や文化についても、フィールドワーク（地理学分野では‘巡検’という用語を使うようです）が私の研究の要となっています。

さて、「学生に物事に取り組みせ、彼らが行っていることについて考えさせる」（Bonwell & Eison, 1991）、いわゆるアクティブラーニング（AL）が小学校から高校の教育はもとより、大学や大学院にも求められています。フィールドワークから自然の挙動を明らかにする生態学分野では、この教育方法はごく一般的なことですが、講義にこれを取り入れるのは難しい面もあります。関西大学大学院の講義科目「自然環境学特論」は多様な自然と気候要因や人の営みとの関係を理解し、自然の複雑な挙動や保全について自分の考えを構築することをめざす講義です。講義科目ですが、受講生は10名以内の少人数でもあり、フィールドワークを実践する機会を許



2022年度に実施した大阪公立大学附属植物園でのフィールドワーク。熱心な留学生ふたりが受講しました（2022年6月22日）。

容いただいているのはたいへんありがたいことです。

文学研究科では留学生も多いですが、彼らは日本語が上手で、優秀であるだけでなく、フィールドワークに前のめりでとりこんでくれます。ALの重要なポイントは、「認知プロセスの外化」を行う点にあります。院生たちはフィールドワークの学びにくわえて、さまざまな資料を調べて、すばらしいプレゼンテーションをしてくれます。講義（基礎的理解）→フィールドワーク→プレゼンテーション→ディスカッションという一連のALはとても楽しく、授業を行う私の大きなモチベーションにつながっています。昨年のコロナ禍においても、講義はオンラインでしたが、春日山原始林のフィールドワークを組み込みました。受講生以外も参加して、楽しく照葉樹林を歩きました。

日本の多様な自然と世界の自然について相互にディスカッションしながら、おそらく大学院生以上に、私が学び、楽しんでいる講義であることはまちがいありません。これまで受講し、積極的に学んでくれた院生たちに感謝！です。

（まえさこ ゆり：文学研究科非常勤講師、大阪産業大学大学院人間環境学研究科）

千里地理通信 第87号

2022年9月30日発行 (250部)

関西大学地理学・地域環境学教室、
関大地理同窓会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

関西大学文学部地理学・地域環境学教室内
編集担当：松井 幸一

TEL：06-6368-1121（内線4890：大学院生室）

e-mail：kandaichiri@gmail.com

url：http://www2.kansai-u.ac.jp/kugeoenv/

郵便振替：大阪00970-4-81149